

トリプタノール錠 10

トリプタノール錠 25

【この薬は？】

販売名	トリプタノール錠 10 TRYPTANOL Tablets 10	トリプタノール錠 25 TRYPTANOL Tablets 25
一般名	アミトリプチリン塩酸塩 Amitriptyline Hydrochloride	
含有量 (1錠中)	10mg	25mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、三環系抗うつ剤、夜尿症治療剤、疼痛治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内の伝達物質に作用し、抗うつ作用を示します。
- ・この薬は、夜尿症（特に子供のおねしょ）を改善し、また、痛みを和らげます。
- ・次の病気の人に処方されます。

精神科領域におけるうつ病・うつ状態

夜尿症

末梢性神経障害性疼痛

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、吐き気、頭痛、倦怠感（けんたいかん）、易刺激性（ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来すこと）、情動不安（気分が不安定）、睡眠障害などの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・緑内障の人
- ・過去に三環系抗うつ剤で過敏症のあった人
- ・心筋梗塞の回復初期の人
- ・尿閉（前立腺疾患など）の人
- ・モノアミン酸化酵素阻害剤 [セレギリン（エフピー）、ラサギリン（アジレクト）] を使用している人、あるいは使用を中止してから2週間以内の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。

- ・排尿困難のある人
- ・眼内圧亢進（こうしん）のある人
- ・心不全・心筋梗塞・狭心症・不整脈（発作性頻拍、刺激伝達障害）などの心臓に障害のある人
- ・甲状腺機能亢進症の人
- ・てんかんなどのけいれんをおこす病気を有する人、あるいは過去にてんかんなどのけいれんがあった人
- ・躁（そう）うつ病の人
- ・脳の器質的な障害がある人、または統合失調症の素因のある人
- ・衝動的な行動を起こしやすい病気を合併している人
- ・死にたいと強く思ったり考えたことがある人
- ・小児
- ・高齢の人

○この薬には併用してはいけない薬 [モノアミン酸化酵素阻害剤 {セレギリン（エフピー）、ラサギリン（アジレクト）}] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○24歳以下で抗うつ剤を使用した場合、死んでしまいたいという気持ちを強めるという報告があります。24歳以下でこの薬を使う人は医師と十分に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

〔うつ病・うつ状態に用いる場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	トリプタノール錠 10	トリプタノール錠 25
一日量	30～75mg から使用を開始し、150mg まで徐々に増量	

	されます。
飲む回数	1日量を数回に分けて飲みます。

1日の最高使用量はトリプタノール 300mg です。

〔夜尿症に用いる場合〕

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	トリプタノール錠 10
一回量	1～3錠
飲む回数	1日1回寝る前

〔末梢性神経障害性疼痛に用いる場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	トリプタノール錠 10	トリプタノール錠 25
一日量	10mg から使用を開始し、症状に応じて増減されます。	

1日の最高使用量はトリプタノール 150mg です。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついたときに、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多くを飲んだ場合は、目が覚めない、刺激を与えられたときだけ反応する、幻視、意識の混乱、感情が激しくたかぶった状態、けいれん、筋肉のこわばり、反射亢進、重篤な低血圧、頻脈、動悸、気を失う、全身のむくみ、息苦しい、低体温、異常な高熱、嘔吐（おうと）、散瞳などの症状があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下がおこることがあるので、この薬を飲んでいる患者さんは、自動車の運転など危険を伴う機械の操作を行わないようにしてください。
- ・うつ病やうつ症状の人は死んでしまいたいと感じることがあります。この薬を飲んでいる間、特に飲みはじめや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることがあるので、このような症状があらわれた場合には、医師に相談してください。

- ・不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、医師に相談してください。この薬との関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。
- ・ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来すなどの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に相談してください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方にも伝えるようにしてください。
- ・この薬は、飲む量を急に減らしたり、中止した場合に、吐き気、頭痛、倦怠感(けんたいかん)、易刺激性(ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来すこと)、情動不安、睡眠障害などの症状があらわれることがあります。そのため、この薬を中止する場合には、時間をかけて少しずつ量を減らしていきます。医師の指示どおりに使用してください。
- ・アルコール飲料、セイヨウオトギリソウを含有する食品はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


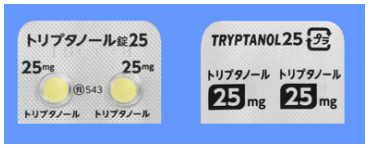


重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群 (Syndrome malin) あくせいしょうこうぐん(シンドローム マリン)	38℃以上の発熱、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、筋肉のこわばり、ふるえ、飲み込みにくい
セロトニン症候群 セロトニンしょうこうぐん	発熱、不安、手のふるえ、さむけ、興奮、汗をかく
心筋梗塞 しんきんこうそく	息苦しい、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、冷や汗
幻覚	実際にはない物が見えたり聞こえたりするよ

重大な副作用	主な自覚症状
げんかく	うに感じる
せん妄 せんもう	意識の混乱、意識が乱れる
精神錯乱 せいしんさくらん	集中力の低下、考えがまとまらない
痙攣 けいれん	けいれん
顔・舌部の浮腫 かお・ぜつぶのふしゅ	顔・舌の腫れ
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
骨髄抑制 こつずいよくせい	からだがだるい、頭痛、めまい、息切れ、顔色が悪い、たびたび起こる発熱などの感染、さむけ、のどのただれ、口内炎、出血またはあざがでしやすい（皮膚の黒か青い部分）、鼻血、歯ぐきの出血
麻痺性イレウス まひせいイレウス	嘔吐、激しい腹痛、吐き気、便がでない、食欲不振、腹がはる
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群（SIADH） こうりにょうホルモンふてきごうぶんびつしょうこうぐん（エスアイエーディーエイチ）	意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐、食欲不振、けいれん

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	38℃以上の発熱、ふるえ、発熱、さむけ、汗をかく、冷や汗、けいれん、からだがだるい
頭部	意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、意識の混乱、意識が乱れる、意識の低下、頭痛、めまい
顔面	顔・舌の腫れ、鼻血
口や喉	飲み込みにくい、のどの痛み、歯ぐきの出血、嘔吐、吐き気、のどのただれ、口内炎
胸部	息苦しい、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、息切れ、吐き気
腹部	激しい腹痛、吐き気、食欲不振、腹がはる
手・足	手のふるえ
皮膚	出血またはあざがでしやすい（皮膚の黒か青い部分）、顔色が悪い
筋肉	筋肉のこわばり
便	便がでない
その他	不安、興奮、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、集中力の低下

【この薬の形は？】

販売名	トリプタノール錠10	トリプタノール錠25
PTPシート		
形状	円形の錠剤 	円形の錠剤 
販売名	トリプタノール錠10	トリプタノール錠25
直径	6.4mm	6.4mm
厚さ	3.3mm	3.3mm
重さ	0.14g	0.13g
色	青色	黄色
本体コード	㊞ 542	㊞ 543
包装コード	㊞ 542	㊞ 543

【この薬に含まれているのは？】

販売名	トリプタノール錠10	トリプタノール錠25
有効成分	アミトリプチリン塩酸塩	
添加物	乳糖、トウモロコシデンプン、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、無水ケイ酸、リン酸水素カルシウム、ステアリン酸、ステアリン酸マグネシウム、酸化チタン、タルク、青色1号、カルナウバロウ	乳糖、トウモロコシデンプン、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、無水ケイ酸、リン酸水素カルシウム、ステアリン酸、ステアリン酸マグネシウム、酸化チタン、タルク、黄色4号（タートラジン）、黄色5号、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

日医工株式会社 (<http://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL(フリーダイヤル) : (0120)517-215

受付時間 : 9時～17時(土、日、祝日その他当社の休業日を除く)